

## 市政全般について 県に要望しました



合わせて19項目を要望しました

8月4日、田上市長と毎熊市議会議長らが県庁に中村知事を訪ね、県庁舎跡地を活用した施設に市公会堂に代わるホールの設置を要望。跡地整備方針の早期決定と市の提案実現に理解を求めました。

その他、こども医療費の対象者拡大、軍艦島の整備事業に対する県の財政支援、ラグビーワールドカップのキャンプ誘致における県市連携などを要望しました。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

## こいつは楽だ! ただ今、実験中



手すりの縦を握ると上へ、横を握ると下へ動きます

7月28日、十人町の階段道で、十人町一の組自治会による「電動てすり」の社会実験が始まりました。

つかまった手すりが動くことで、坂道の移動が楽になります。体験した地元住民の方々は、「外出の機会が増えそう」と喜んでいました。

市はこの取り組みを「まちづらプロジェクト」に認定しました。実験が成功し普及すれば、移動に困っている高齢者の外出の手助けとなり、まちなかのにぎわいにつながると期待されます。

■問い合わせ 土木企画課(☎829-1415)

まちなか事業推進室(☎829-1178)

## 地域の衰退に 歯止めをかけよう



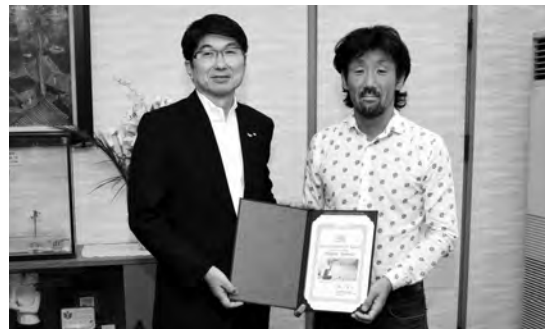
みんなでつくろう元気な長崎!!

7月31日、産学官7団体のトップがグラバー園の旧スタイル記念学校に集まり、基幹製造業や観光、水産、大学などの重点分野について話し合う第11回長崎サミットを開催。「地方創生を地域のトップが語る」場として、さまざまな意見交換がなされました。

長崎サミットは10年間の活動期間の中間地点を振り返りましたが、主要な分野の目標達成にはまだまだ努力が必要です。市では引き続き、各団体との連携をさらに強め、各種事業の推進に努めます。

■問い合わせ 産業雇用政策課(☎829-1313)

## さまざまな手段で 世界へ被爆体験の継承を



19人目の長崎平和特派員認定です

8月13日、映像作家でアーティストの竹田信平しんべいさんに、「長崎平和特派員」の認定証を交付しました。

竹田さんは、北米・中南米に移住した被爆者を訪問・取材した成果を、本や映画、アートなどさまざまな手段で表現することで、被爆体験の継承に取り組んでいます。

■問い合わせ 平和推進課(☎844-9923)